

# 「オゾン分子水」で防疫

豚コレラを「特殊なオゾン水」で防疫。アースシンク55（東京都中央区、松村栄治社長、03・6423・6112）は、農場で使用する水を高い殺菌・不活性化作用を持つ「オゾン分子水」に変える装置「モルトロンオゾン分子水システム」を石川養豚場（愛知県半田市、石川安俊社長、0569・20・5410）に設置した。ウイルスや病原微生物を分解・不活性化することができ、防疫や洗浄に大きな効果の発揮が期待できる。

（名古屋・中島佑馬）

## アースシンク55

終わり見えず

生。愛知県は自衛隊の災害派遣を要請し、関連施設も含めた約1万5000頭の殺処分を2月13日には愛知県田原市で、養豚場の密集地帯から豚コレラが発

## 豚コレラ対策、高殺菌作用

### 農場水を変換 石川養豚場に装置

養豚場から豚コレラが確認され約1300頭が処分されるなど、終わりは見えない。

菌やウイルスの不活性化作用を持つオゾンは水に溶けにくいという性質を持つため、一般的なオゾン水は濃度が薄く、さらに半減期も数分程度と短い。一方オゾン分子水は水分子の中に超高密度でオゾン分子が分散しており、半減期は25時間以上とオゾン水の約1500倍に向上。濃度も落ちにくく、設備に既存する配管を使用して



水道水をオゾン分子水に変換する「モルトロンオゾン分子水システム」

送水するため「農場全体に同じ濃度のオゾン分子水を行き渡らせることが可能」という。（松村社長）

強力な殺菌作用を持ちながら人体や環境への悪影響はなく、設備の向上にもつながる。さらに悪臭の原因となるアンモニアなども除菌できるため、臭気の根本から悪臭対策が可能。「まさに今、求められている技術」と松村社長は胸を張る。

## 洗浄技術で「農工連携」

同システムには警察科学警察研究所と共同研究を進めた、生物兵器や化学兵器に対する除染技術が使われており、福島原発の除染テストでも抜群の成績を残した実績を持つ。

工業分野においても食品や半導体業界をはじめ、さまざまな工場での設備洗浄などに使われている。

悪臭対策に期待

養豚場では豚コレラなどの防疫にも大きな効果が期待されている。石川養豚場の石川社長は「入ってくる菌

### 架け橋を期待

「1次産業である畜産業で、オゾン分子水のような工業技術が大きな成果を出すことができれば、農工連携ならぬ、農工連携はさらに進んでいく」と、松村社長はさらなる農工技術の発展を見据えており、オゾン分子水は農工連携の架け橋と